

次ぎの二俣を右に入り、小滝を越えて進むと、そろそろヤブがうるさくなってきた。やがて源頭。急なルンゼを登って尾根に出る。

尾根にはかすかな踏跡が残っていた。現在地を確認して、日陰ゴミ沢に下る。

(記・...)

【タイム】 秋遠沢出合(7:30)→二俣(8:00)→進行終了(9:25)

秋遠沢右俣 (F2)

1984年7月29日

I

12:15 下降開始。ガレ場をブッシュにつかまりながら下る。15分で秋遠沢右俣の源頭に出る。源頭はウルイの大群落。ちょうど花の盛りで、とにかくきれいである。

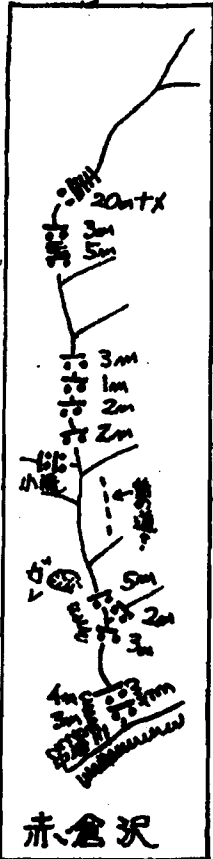
水が出てくると、すぐ7mの滝。そして左岸から支流を合わせた先には次々に滝がかかる。5m前後の滝がほとん

どで、全てクライミングダウン。

沢がU字峡状になった先も連瀬帯が続く。最後の6m三段滝を下ってようやく連瀬帯も終了。大きな滝はかからないが、沢登りの楽しさを十分に満喫できた。

連瀬帯を終えると、あとは二俣まで倒木の多い沢の下りである。13:35二俣着。これより本流の連瀬帯をクライミングダウンで下る。思ったより楽に降りられた。14:00林道に出て、今日の行動を終える。

(記)



【タイム】 下降開始(12:15)→二俣(13:35)→林道(14:00)

赤倉沢

1984年7月21日

L

中津川林道のゲート前に車をデポして、赤倉沢出合まで歩く。

7:30進行開始。

出合は小滝が連続してとてもよい感じ。期待して進んでゆくと、だんだん平凡になってきて、左岸には踏跡らしきものが現われてきた。あとは河原が続き、小滝がいくつかあるだけ。

これで終わりかと思いかけた頃、20mのナメ滝が現われた。ホールド、スタンスとも豊富で、快速に登ることができる。登り終わって小休止。

この先は、流れもチョワチョワとなり、水の濡れた所でヤブをこいで910mピークに出る。9:40。地図には三角点の表示があるので、さがしてみたが、みつからなかった。ひとしきりさがしてから、上赤倉沢(仮称)めざして下降に入る。

(記)

【タイム】 赤倉沢出合(7:30)→910mピーク(9:40)

カンカネ沢右俣・左俣

1984年9月30日

L

中津川の出合からしばらくは左右に蛇行する河原が続く。地図から判断して、多分そんなに大きな滝はないだろうと思っていたのだが、最初に出てきた

